

製造業における部品調達のデジタル革命「meviy(メヴィー)」 経済産業省発行の「2019年版ものづくり白書」に掲載

～ものづくりのビッグデータを活かし『世界で勝ち切るための戦略』として紹介～

株式会社ミスミグループ本社の革新的な部品調達プラットフォーム「meviy(メヴィー)」が、経済産業省・厚生労働省・文部科学省より発行された令和として初の「2019年版ものづくり白書」に掲載されました。ものづくり白書とは上記3省で共同執筆し、政府の閣議決定をもって承認される「ものづくり基盤技術振興基本法」に基づく法定白書です。日本の基幹産業である製造業が直面している現状から課題、展望までを様々な視野で分析しており、各社の取り組み実例も多数掲載しています。

当社サービス「meviy」は『世界で勝ちきるための戦略』と題した第2章第3節にて、『顧客の新たなニーズに対応したサービス提供型のビジネスモデルを確立している代表事例』としてご紹介頂きました。

■世界で勝つための重要戦略：良質なデータを活かした「ニーズ特化型サービス」

本書において経済産業省は、「デジタル技術による第四次産業革命の進展」などを日本の製造業を取り巻く潮流として紹介し、それに対する競争力強化に向けた方策を提示しています。

そのひとつとしてあげられた方策が、“良質なデータを活かしたニーズ特化型サービスを提供するビジネスモデル”の確立です。

近年、モノの販売やサービス提供の顧客接点は、デジタル空間に移行しています。あわせて米国や中国のメガプラットフォーマーが非製造業から製造業へ参入し、自動車やロボットなどの製品を通じてリアルデータを収集。新たな製品・サービス開発やカイゼンに役立てられています。

このような「データ」を活用する取り組みが「世界で勝ち切るためのカギ」を握っているものの、日本の製造業における活用は製造工程の改善分野にとどまり、ビジネスモデル化にまで適用・応用できている企業は全体のわずか3.9%という危機的な状況です。(右グラフ参照)

一方で日本の強みであるものづくりに関連する様々なビッグデータを、生産改善だけでなく「顧客の非効率の解消に繋がるような新たなサービスの提供へ活用」することは、世界を圧倒しうる可能性を秘めています。デジタル化が進む第四次産業革命下において、良質なデータを活かしたニーズ特化型サービスを提供する。それが今後の製造業において重要な戦略となると、本書では強く提唱しています。

meviy はまさにこのデジタル化の潮流を捉え、部品調達という特化した領域においてデジタルデータを活用し、顧客の非効率を解消するサービスとして多くのお客様にご利用いただいております。今回はその実績と meviy のビジネスモデルが「世界で勝ち切る戦略」として認められ、代表的事例としてもものづくり白書に掲載されたものです。

**日本の製造業において
データ活用が進んでいる企業はわずか**

図 231-36 収集データの活用状況



出典:「2019年版ものづくり白書」(経済産業省)より一部抜粋

https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2019/honbun.pdf/pdf/honbun_01_02_03.pdf

■“お客様の非効率を解消したい”:革新的な部品調達プラットフォーム「meviy(メヴィー)」

当社は約 50 年前、製造業の部品調達に「カタログ販売」というビジネスモデルを取り入れることで、お客様の部品調達プロセスにおける非効率を劇的に解消しました。また 2005 年からは自社内にメーカー機能を保有し、製造ノウハウを蓄積すると共に、取り扱い点数は 2670 万点まで拡大してきました。2016 年よりサービスを開始した「meviy(メヴィー)」は、当社が長年ものづくりに携わる中で、また品揃えを拡大する中で、蓄積した製造のノウハウ・ものづくりに関する各種データと最新のデジタル技術を活用し、部品調達における新たな時間価値の提供というお客様の本質的なニーズに応えた革新的な部品調達プラットフォームです。

<meviy(メヴィー)とは>

meviy とは、「3D データアップロードで、即時見積もり、最短 1 日出荷」を実現する、ものづくりのための革新的な部品調達プラットフォームです。8 割以上の高リピート率を誇り、今までで見積もりいただいた部品点数は 150 万点に迫る規模まで広がっています。またその利便性の高さから着実にユーザー数を伸ばし、12,000 人以上の製造業のお客様にご利用いただいております。

【 meviy の主な特徴 】

○システムによる自動見積もり

- ・ 独自のアルゴリズムによる自動見積システムで、24 時間 365 日、いつでも価格や納期を即時に算出。製造可否もシステムが自動で判定し、設計ミスによる手戻りを回避

○劇的な時間削減

- ・ 3D データだけで部品を調達できるため 1 枚 30 分程度かかる図面の作成が不要に。また、システムによる即時見積もりで 1 週間程度かかる見積もりの待ち時間も不要、部品調達における時間を劇的に削減。

○確実短納期

- ・ 独自のデジタルマニュファクチャリングシステムにより、最短 1 日で出荷する確実短納期を実現。通常 2 週間程度かかる部品の製造納期を大幅に短縮することが可能

さらに、ほぼ全ての 3DCAD ソフトのデータ形式に対応し、これまで金型部品、試作加工品 (Rapid Prototype)、板金部品・切削プレートの幅広いサービスを展開、ものづくりの様々なシーンをカバーしています。

今後もミスミは全世界 30 万社のプロフェッショナルな製造業のお客様のご要望をもとに「meviy」を進化させ、部品調達における新たなプラットフォームとしてグローバルに発展させることで、ものづくりのプロセスの劇的な時間短縮に貢献いたします。

■『2019 年版ものづくり白書』2019 年 6 月 11 日発行 ■

ものづくり白書 2019 概要 14 ページに掲載

https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2019/honbun_pdf/pdf/gaiyo.pdf

(経済産業省執筆) 第 2 章 第 3 節 世界で勝ち切るための戦略

—Connected Industries の実現に向けて— 130 ページに掲載

https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2019/honbun_pdf/index.html



「meviy」に関する詳細情報は、こちらの WEB ページをご参照ください。

<https://meviy.misumi-ec.com/>



FA（ファクトリーオートメーション）用部品、金型用部品の製造・販売、他社メーカーの工具・消耗品など製造副資材（MRO）の販売を行う（株）ミスミグループ本社は、製造業向け加工部品調達のプラットフォーム「mevii」（メヴィー）を進化させた。同プラットフォームでは、幅広い製造業の顧客に対し、板金部品・切削加工品・試作加工品・金型部品を提供している。3Dデータをアップロードするだけで部品の即時見積もりや最短1日での出荷を可能にし、従来の図面手配による見積もりと比べて部品調達に要する時間を80%以上削減できる革新的なサービスを加速している。

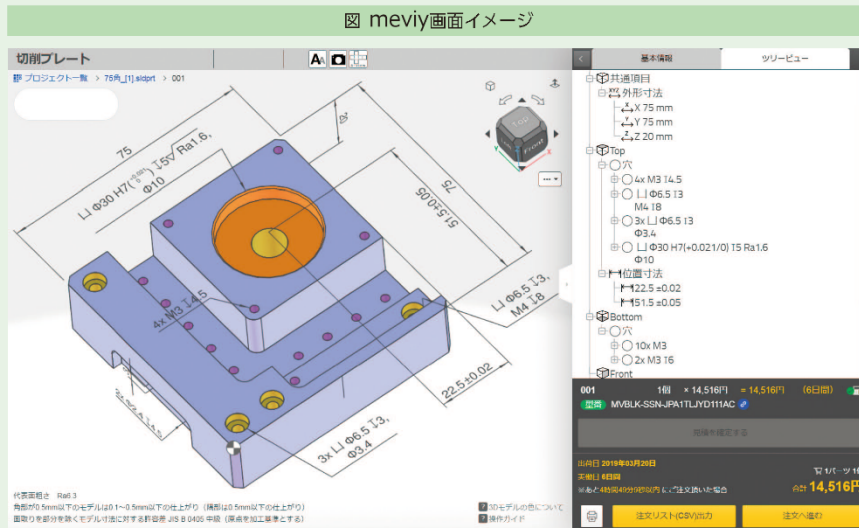
同社は約半世紀前、製造業の加工部品調達において「カタログ販売」というイノベーションを起こした。カタログでは価格・納期を明示し、ミクロン単位でサイズを指定することを可能とした。その品揃えの組合せは800垓（がい）を超え、非効率でブラックボックスであった調達プロセスを劇的に効率化した。

2016年よりサービスを開始したmeviiは、デジタル技術の発展と長年培ってきた同社のものづくり技術との融合による新たなイノベーションである。従来の紙ベースでの調達では、1部品当たり30分程度の作図作業に加え、1週間以上かかる見積もり回答の待ち時間が発生するが、同サービスでは作図をすることなく3Dデータだけで即時見積もりを行うため、調達業務の劇的な効率化を実現する。複雑な精密加工部品にも対応しており、カタログではカバーできなかった顧客のマスカスタムへのニーズにきめ細やかに応えることを可能にした。

もう一つの大きな特徴は、同社の製造ノウハウを進化させたデジタルマニュファクチャリングシステムである。3Dデータから工作機械を動かすプログラムを自動生成、工場に転送し即座に加工を開始することで製造リードタイムを大幅短縮し、金属の精密加工部品でも最短1日の出荷を実現している。納期を従来の2週間から大幅に短縮し、時間価値の提供を通じて顧客の部品調達イノベーションを牽引している。

今後はmeviiをオープン化し、自社工場での製造に加え、加工業者をネットワーク化する取組も構想している。日本国内だけでも数万の加工業者がある中、稼働率は2～3割程度とされる。世界30万社のものづくり企業と繋がる同社の強みを活かし、稼働率に余裕のある加工業者に製造を依頼する「製造業のシェアリングエコノミー」の実現も視野に入れている。優れた技術を持つ加工業者には、受注機会や稼働率の向上、付加価値に対して適正な対価を得ることができるメリットがある。

同プラットフォームを通じて、日本が得意とする「ものづくり」や「非効率の解消」にデジタルの力を組み合わせることで、メガITプラットフォームや競合他社とも相互に補完しながら成長する新たなエコシステムを実現することを視野に入れる。



出所：(株) ミスミグループ本社より提供

出典：「2019年版ものづくり白書」（経済産業省）より一部抜粋

(URL: https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2019/honbun_pdf/pdf/honbun_01_02_03.pdf)

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ミスミグループ本社 コーポレート・リレーション室 新保 横手

e-mail: pr@misumi.co.jp Tel: 03-5805-7173